

小規模企業景気動向調査

[平成29年4月期調査]

～4ヶ月ぶりに全業種で改善を示した小規模企業景況～

2017年6月6日
全国商工会連合会

＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年4月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

＜産業全体＞ ◇…4ヶ月ぶりに全業種で改善を示した小規模企業景況…◇

4月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅に改善した。項目別では、売上額DIと資金繰りDIは小幅に改善したが、採算DIがわずかな改善に留まった。全業種で業況が改善を示したのは、平成28年12月以来4ヶ月ぶり。経営指導員からは、飲食店や宿泊業を中心に観光関連業種に好況感が見られるという報告があり、また、食品製造業や輸送用機械器具製造業等の一部業種では好調を維持している声があった。一方で、一部の地域では、人口減少や高齢化等により全般的に経済状況は悪化傾向で、先行きは良いとは言えない旨の報告があった。

＜製造業＞ ◇…一部業種において持ち直しが見られるも、原材料高騰の長期化により厳しい状態が続く製造業…◇

製造業の業況DIは、先月に引き続きわずかに改善した。売上額DIは不変であった一方で、採算DIと資金繰りDIは小幅に改善した。経営指導員からは、需要の高まりを受けて建材製造の受注が増加していることや、輸送用機械器具製造業については、会社の規模を問わず小規模・零細事業所にも仕事量が回り始め操業率が回復しているとの報告があった。一方で、金属製品製造業の中でも汎用性のあるボルト、ナット、リベット等の製造業では、非鉄金属の価格上昇により、大変厳しい経営状況であるとの報告があった。

＜建設業＞ ◇…リフォーム関連工事による受注量に安定が見られるが、人手不足感が依然として続く建設業…◇

建設業の業況DIは、先月と比べ小幅な改善となった。売上額DI、採算DI、資金繰りDIはいずれも小幅な改善となった。例年であれば4月は3月までの公共工事の発注が終息し、仕事量の減少が散見されるところだが、経営指導員からは民間工事、特にリフォーム関連工事があることで、仕事量は安定しているとの報告があった。一方で、先月の報告でも取り上げた人手不足は、改善の兆しがみえず、受注機会の放棄や採算悪化を招いている。

＜小売業＞ ◇…季節需要から一部業種で売上が増加するも、大型小売店との競争で苦戦が続く小売業…◇

小売業の業況DIは、3ヶ月連続でわずかに改善した。売上額DIは小幅に改善したものの、採算DIは小幅な悪化、資金繰りDIはわずかに悪化した。季節要因として、入学式・入社式に関連した需要により売上額が増加したとの報告がある。一方、大型小売店の出店攻勢や既存大型店との価格競争から地域の小規模事業者は大変厳しい状況が続いており、粗利益の確保に苦戦しているとの報告があった。

＜サービス業＞ ◇…需要の高まりを受け、業況が大幅に改善するも、観光業以外は厳しい状況にあるサービス業…◇

サービス業の業況DIは、3ヶ月連続で改善し、改善幅は大幅となった。項目別に見ると、売上額DIが大幅改善、採算DIと資金繰りDIは小幅に改善した。経営指導員からは、4月期は旅行客増加に関するコメントが散見され、特に一部地域では観光需要の高まりを受け、従来からの外国人旅行客の増加のみならず、最近では通過型観光から体験・滞在型観光への転換が進むなど、観光客の需要の変化が進んでいると報告があった。一方で、理美容業などの生活関連サービス業では、対象とする消費者の行動が広範囲に渡っていることから、市外や県外の同業他社との競争が厳しい状況にあるとの声が聞かれた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 16.9	▲ 13.4	3.5	▲ 8.4	▲ 8.6	▲ 0.2	▲ 11.1	▲ 7.8	3.3
採算	▲ 18.8	▲ 17.4	1.4	▲ 16.6	▲ 14.1	2.5	▲ 20.1	▲ 15.4	4.7
資金繰り	▲ 15.4	▲ 13.4	2.0	▲ 13.8	▲ 10.3	3.5	▲ 15.9	▲ 12.5	3.4
業況	▲ 20.2	▲ 17.0	3.2	▲ 15.0	▲ 13.1	1.9	▲ 15.4	▲ 11.9	3.5

業種	小売業			サービス業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 28.7	▲ 25.2	3.5	▲ 19.6	▲ 12.3	7.3
採算	▲ 23.3	▲ 27.2	▲ 3.9	▲ 15.4	▲ 13.1	2.3
資金繰り	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 1.0	▲ 12.8	▲ 10.6	2.2
業況	▲ 29.9	▲ 28.4	1.5	▲ 20.3	▲ 14.7	5.6

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

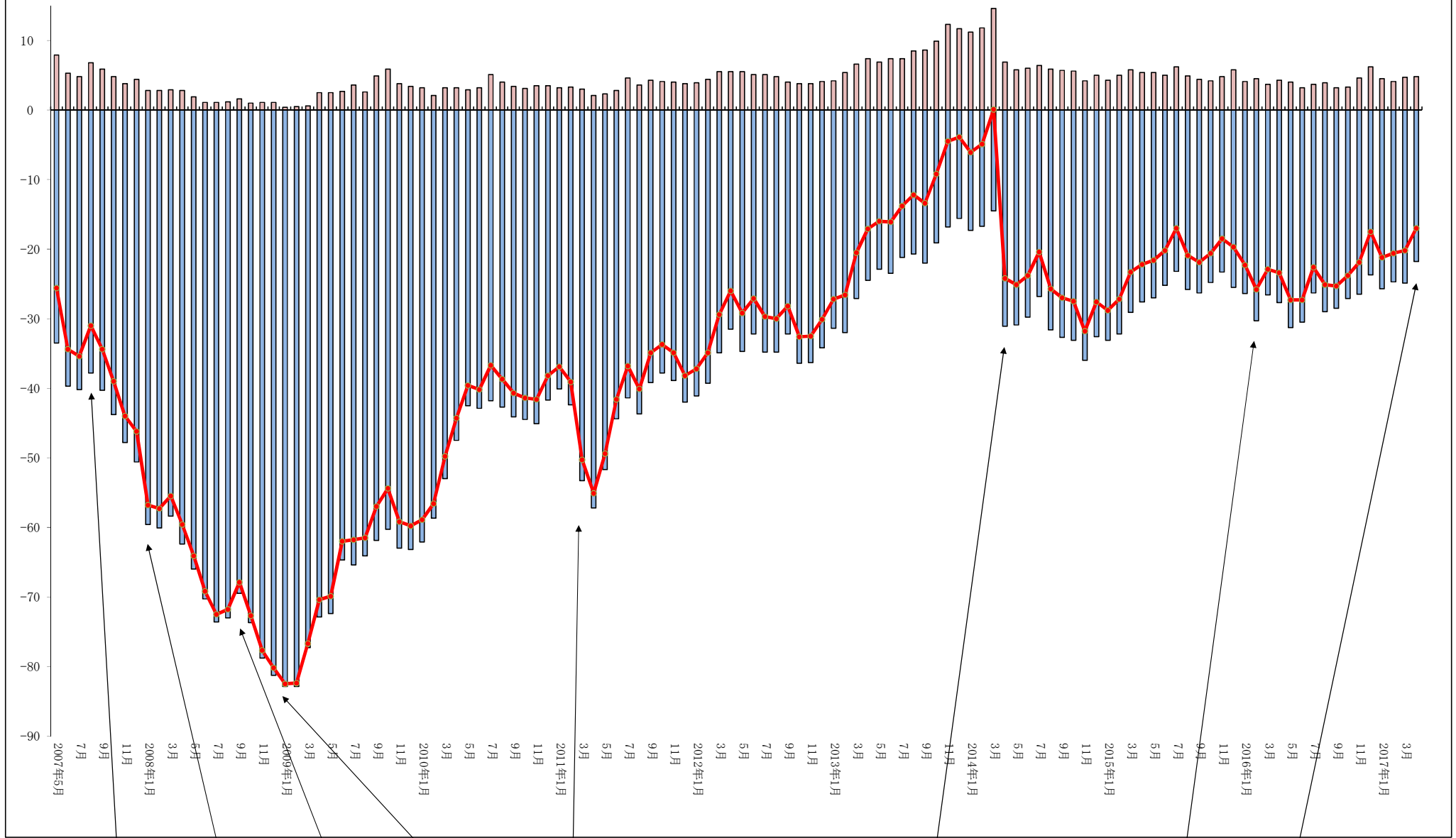
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス金利導入

17年/4月
-17.0

小規模企業景気動向調査(4月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・昨年、雪不足で観光・建設関係をはじめ町内各産業共に大変苦しんだが、今年は雪も遅れながらも降ってくれたので持ち直した部分がある。

(長野県信濃町商工会)

・観光客入込数が前年比20%増となっており宿泊客など増加しており観光関連業者は業況が好転している。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・一般的には落ち着いているが、製造業の仕事量は増え始めている。製造業中心の町なので、それが他業界に波及すれば活気が出てくると思われる。

(静岡県新居町商工会)

・当地域はインバウンドの影響により、他地域に比べて宿泊業を中心に好況感がある。その影響で、建設、卸・小売、サービス業も好影響を受けており、今後も外国人観光客の増加に伴い、景気状況の維持が見込まれる。

(山梨県河口湖商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・管内の景況は、厳しい状況で推移しこの状況が当たり前で不変的。今後も良くなる見込みなし。マイナス金利の関係も借入は極力せず我慢している状況で必要最低限の融資は制度融資等で借換が主。与信のある事業所は支店長決済にて対応するも借り手は余りない。

(茨城県日立市十王商工会)

・地域全般は人口減少、高齢化により一般的に経済状況は悪化傾向にある。金融機関の貸し出し姿勢については、前向きであるが、資金需要が乏しい。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

・経済状況は全体的に大きな変動はなく例年通り推移している。しかしながら、少子高齢化の影響により休業や廃業をする事業者が増えており先行は良いといえない。今年度より町が新たな事業所支援政策(県制度融資に対する保証料・貸付利息の補給金事業)を開始したことにより、4月の段階で多くの融資相談がある。実際に金融機関の貸付額も前年度に比べて増加していることが予想される。

(高知県黒潮町商工会)

・一部の業種(食品製造業・建築業)を除いては、地域経済情勢の上向き感はない。各地域とも元々後継者難に苦しんでいる事業者が多かったが、高齢化等の理由による廃業が目立ち始めている。(特に小売業及びサービス業)

(島根県石見商工会)

・飲食店、コンビニ、介護などを中心に人手不足感が出ているが、経営的には売り上げの増加はみられない業種が多く、人口減少、高齢化等の要因の模様である。

(茨城県高萩市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・自動車部品等製造業は零細事業所においても操業率が回復してきている。三菱自動車水島工場の製造車種増加に期待する声も聞かれる。

(岡山県瀬戸内市商工会)

・林業関連の製材業は、木材需要の高まりにより受注が増加傾向にある。

(大分県佐伯市番匠商工会)

・マツダ自動車関連の製造業は、マツダ自動車の売上が好調なため、稼働状況は前年と比べて大きな変動はない。

(広島県安芸高田市商工会)

・プラスチック関連及び自ラ車関係部品の製造業については、受注は安定してきており、売上也増加傾向である。

(愛知県長久手市商工会)

・食料品(水産加工業)は昨年の不漁の煽りを受け、同業他社が廃業により減少、先月までは景況感にマイナスの傾向が見られたが、現在はその混乱が収束し、一社当たりの受注件数が増加、業況も好転している。

繊維工業は売上が停滞しているが、およそ昨年と比較し横ばいに推移している。

機械・金属は採算が悪化傾向にあるものの、業界全体の景況感としては明るいものがある。

(富山県射水市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・製造業全般に、小ロットの受注生産のため、利益が上がりにくい状況になっている。

(奈良県平群町商工会)

・自動車関係の製造業は受注が伸びているが、原材料費の高騰で利益に結びついていない。

(群馬県群馬伊勢崎商工会)

・金属加工製造業では、これからの受注見通しが悪化してきている。

(福岡県岡垣町商工会)

・冷凍食品の製造業は、材料費は上がったが、メーカーからの単価は変わらず厳しい状況が続いている。大手機械製造業は在庫調整を行い、下請け企業は受注が減少している。

(香川県さぬき市商工会)

・当地域の製造業は特異な技術を保有する製造業者が多いが、そのような企業を除いて、下請け型の製造業者については、売上げが微減傾向が続いており、原材料の高騰等により厳しい経営状況である。

(山梨県河口湖商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・住宅・リフォーム関連及び付随する塗装業等は、季節的な要因、住宅の老朽化により金額は小さいが、需要件数が増加している。

(山形県上市市商工会)

・八重山地方は建築ラッシュの為、慢性的な人手不足が続くほど、好景気を維持している。資材販売業なども、資材高騰の影響で売上高が伸びている状況。

(沖縄県石垣市商工会)

・電気工事関連の建設業で、市から依頼された街灯のLED化工事を請け負い、利益が大きく増加した事業所があった。

(秋田県よこて市商工会)

・リフォーム関連の建設業は、例年に比べ受注数などが増加傾向にあり採算性は良い状況になっている。

(千葉県鋸南町商工会)

・一般的に仕事量は安定してある。リフォーム関連は人手不足もあり、忙しい事業者がみられる。

(愛知県豊浜商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・資材が20%程上昇しており、利益が増えていない。また、人手不足の傾向にある。

(宮崎県えびの市商工会)

・わずかながら、受注の増加傾向にあるが、原材料等の増加もあって採算はあがらないため資金繰りが厳しい

(愛知県長久手市商工会)

・公共事業が少なく建設土木関係は厳しい状況。「暇」という言葉が多くの事業者から聞かれる。

(三重県紀宝町商工会)

・建築関連の建設業では職人不足の影響もあり、受注はあるものの売上の増加にはつなげていない状況である。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・公共工事は増加傾向にあるものの、人件費の高騰で採算は悪化。社会保険の加入徹底も大きな負担となっている。

(沖縄県南城市商工会)

・建設業の社会保険未加入対策により、一部の小規模の個人事業者(従業員5人未満)に混乱が見られた。

(新潟県巻商工会)

・仕事は多いが建設資材が高騰しているとの話をよく耳にするようになった。売上も増加傾向が継続している。

(福岡県筑前町商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・当該地域の人口は横ばい傾向で需要もそれなりといったところ。極めて良いとは言いきれないが、安定傾向である。

(群馬県桐生市新里商工会)

・小売業界は、入学・就職関連の業績は良かった。

(山梨県市川三郷町商工会)

・土産品関係の小売業は、イベントなどで観光客も多いため収益は確保できている。

(岐阜県高山西商工会)

・家電小売業では、家電に付随するリフォームの受注が増加して売り上げも増加した。

(岡山県備前東商工会)

・食料関連の小売業は客単価の増加により売上が上がっている。

(埼玉県加須市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・自動車関連の小売業では、少子化の影響もあり、シーズンとしては3月4月が売上が伸びる時期であるが、例年より売上が減少している。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・生鮮食品関連の小売業では、大手チェーンストアの出店が増加しているため、一般顧客の獲得が激減し業況は非常に厳しい。このため飲食事業者や小中学校などの給食用に食材を提供しているが、冷凍食品などの加工食品に多くの需要があるため業況は厳しい状況になっている。

(茨城県取手市商工会)

・大型スーパーの出店など価格競争から小規模事業者の小売店は厳しい状況が続いており、粗利益確保が厳しい状況となっている。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・高齢化が進んでいる地域にあって消費は低い。このため小売業者の売り上げも伸び悩んでいる。

(三重県度会町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・車関係の業種は、幾分景気は良いみたいである。

(三重県度会町商工会)

・宿泊関連のサービス業は、外国人観光客の増加により、かなり先までの予約が入り、稼働率の高い状況になっている。

(長野県南木曾商工会)

・クリーニング業界は、重衣料の持ち込みが多く、販売高が増加する

(山梨県市川三郷町商工会)

・介護、医療は需要が堅調。高齢化社会の需要は供給が追いついてない感がある。

(広島県呉広域商工会)

・旅館関連のサービス業は観光需要の高まりを受け好調。従来の通過型観光から体験・滞在型観光への転換が着実に進んでいる。

(沖縄県南城市商工会)

・旅行関連業界が増収傾向にある。春の観光シーズンによる需要は昨年同時期と比較すると大きく伸びている。(昨年は熊本震災の影響があった。)域内の観光業では観光バス会社が好調を維持している。行き先は北部九州で1泊～2泊のコースが主力となっている。

(福岡県筑前町商工会)

・旅館業は、昨年の4月期は熊本地震の影響で宿泊客が減ったが、今年の4月は、観光・ビジネス客も戻り、売上も増加した。その他のサービス業は少子高齢化の影響を受けており、特に、理美容業では、若い人の利用が減少傾向にある。

(宮崎県えびの市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・消費者の節約傾向が進み、全てのサービス業で低価格帯への流れが増加し、売り上げの減少となり回復傾向が見えない状況。

(茨城県日立市十王商工会)

・理美容業などの生活関連のサービス業は、当地域の立地面が良く消費者の行動範囲が広いことから市外や県外の同業他社との競争が厳しい状況にある。具体的には、都心部へ通勤している20～40歳代の獲得が困難である。このため、営業時間帯を変更したりターゲット顧客を高齢者にして対応している。また、近年、リラクゼーションサロンの出店が増加傾向にある。

(茨城県取手市商工会)

・他業種の影響を受けあまりよくない。特に宿泊業は日帰り需要が多く、売上が伸長しない。

(長野県佐久市望月商工会)

・宿泊業：長期滞在の顧客が減少し、調味料等の値上げもあり採算が悪化している
洗濯業：春先の冷え込みで衣替え需要がずれ込み連休直前まで客足が増えなかった

(山口県岩国西商工会)

・「旅館」…天候がよく客数は増加しているものの売上に変化はない。(客単価は減少している。)使用する食材の単価が年々上昇していることから、採算は若干悪化している。夏のプランを早期広報したことで盆を中心に既に予約が埋まってきている。(最終的には天候に左右されると感じている。)

「洗濯」…売上微増であるがその他については例年並み、業況も大きな変動なし。

「理・美容」…例年並みで推移。業況については人口減等により微減が続いている。

(京都府京丹後市商工会)

・宿泊業は、熊本震災から1年たち、例年の同水準にもどりつつある。決して昨年より大幅に伸びたわけではなく、例年水準に戻っただけである。

(鹿児島県霧島市商工会)